

Press Release

2025 年 9 月 3 日

報道関係者各位

ラインファーマ株式会社

人工妊娠中絶薬「メフィーゴ®パック」、累計販売数 10,000 パック達成 ～発売から約 2 年、全国各地での導入が進展～

ラインファーマ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：マーク・ノグル）が製造販売する、人工妊娠中絶薬「メフィーゴパック」が、2023 年の発売開始から約 2 年を経て、このたび累計販売数 10,000 パックを達成しました。

メフィーゴパックは、日本で初めて承認された経口人工妊娠中絶薬であり、世界保健機関（WHO）が推奨するミフェプリストンとミソプロストールの 2 剤を組み合わせた薬剤です※。発売以来、医療現場での安全かつ適切な使用を促進するとともに、女性のリプロダクティブ・ヘルスにおける選択肢の一つとして、着実に導入が進んできました。現在では、全国各地の医療施設での使用が広がっており、地域間でのアクセス格差の解消にも寄与しています。

メフィーゴパックの臨床試験の段階から関わり、現在ご自身のクリニックでも処方を行っている対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座 理事長の対馬ルリ子先生は、次のように述べています。

「お薬による中絶は、将来の安全な妊娠と出産のための大事な選択肢のひとつです。日本において女性が自らの身体に関して新しい選択肢を持てるようになってから、約 2 年が経過いたしました。この間に 1 万人以上の女性が、従来の外科的手法に依存することなく、より安全でプライバシーに配慮した方法によって妊娠中絶を行うことが可能となったことは、極めて大きな前進であると考えます。一方で、依然としてアクセスに関する課題は残されており、薬を必要とするすべての方が安心して利用できる体制の整備が求められています。累計 10,000 パックを超える使用実績は、日本の女性の健康と権利の歩みにおいて重要な節目であり、社会にとっても意義深い出来事といえるでしょう。

今後も、女性が正確な情報と適切な支援を得ながら、自らの選択を安心して実現できる社会の実現を願っております。」

累計 10,000 パック達成は、医療従事者の皆様のご理解とご協力の賜物であり、また、正しい情報が必要とする女性たちへの一助となることを目指してきた私たちにとって、大きな節目となるものです。

今後も、医療関係者や関係機関と連携し、安全な使用体制の整備と、女性の健康に寄与する活動を継続してまいります。

※世界保健機関（WHO）ホームページ: <https://www.who.int/news/item/08-01-2019-new-guideline-to-help-health-care-workers-ensure-safe-medical-abortion-care>

【本件に関するお問い合わせ先】

ラインファーマ株式会社 PR 窓口（合同会社マッシュ）

担当：新野 Mobile：080-3012-7306 Email：niino@masc-mn.com

参考資料

■会社概要

- ・社名：ラインファーマ株式会社
- ・代表取締役社長：マーク・ノグル
- ・事業内容：医薬品の開発、製造、販売
- ・設立：2020 年 5 月
- ・本社所在地：東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 12 階
- ・ホームページ：<https://www.linepharma.co.jp/>
ラインファーマはノルディックファーマグループの一員です。

■メフィーゴパックについて

母体保護指定医師の指示に従って処方医療機関で投与を受けます。

対象：妊娠9週0日以下の方

特徴：世界保健機関（WHO）が推奨する治療法です

linepharma

メフィーゴ®パック：2種類の薬剤が入ったパック製剤です

メフィーゴパックは、一箱中に、ミフェプリストン錠**1錠**とミソプロストールパッカル錠**4錠**が入った薬剤です。



メフィーゴパック 1剤目
(ミフェプリストン錠)
PTP包装 1錠



メフィーゴパック 2剤目
(ミソプロストールパッカル錠)
ストリップ(SP)包装 2錠×2包

貯法：室温・遮光保存

有効期間：2年

■中絶の選択肢

日本で認められている中絶方法には「お薬」か「手術」を選択することができますが、妊娠週数によって方法が異なります。

薬による中絶と手術による中絶

linepharma

Source : Abort Information 人工妊娠中絶について

お薬による中絶

2種類のお薬を指定医師の前で服用していただくことで、中絶を行います

対象	妊娠9週0日以下の方
方法	1 剤目 1 剤目を、指定医師の前で服用してから帰宅します 2 剤目 36～48時間後に再度受診し、2 剤目を、指定医師の前で服用します 指定医師による指導を受けることが必要です
特徴	体外では、30分以内で薬が溶け、お薬による中絶が行われます お薬を服用するため、痛みを伴わずに中絶を行うことができます 子宮の中に器具を入れないため、産後への負担の軽減が可能です お薬を飲んでから、「出血が強い（下血）」「子宮から出血する（子宮出血）」などの症状や、まれに感染症があらわれることがあります

手術による中絶

子宮の中の内容物を、器具を使ってかきだしたり（掻爬法）と、吸引器を使って吸引したり（吸引法）することで、中絶を行います

対象	妊娠12週未満の方
方法	掻爬法 かんしやへらなどの器具を使って子宮の中の内容物をかきだします 吸引法 手動式や電動式の吸引器を使って子宮の中の内容物を吸引し出します
特徴	短い時間で手術が終わる可能性があります 手術をした後、体質に問題がなければ、当日帰宅できる場合があります 痛みを抑えて手術を行うので、産後の痛みや出血が少なくなる場合があります 手術によって、「子宮に穴があいてしまう（子宮穿孔）」などのリスクにさらされることもあり、稀に感染などのリスクが考えられます

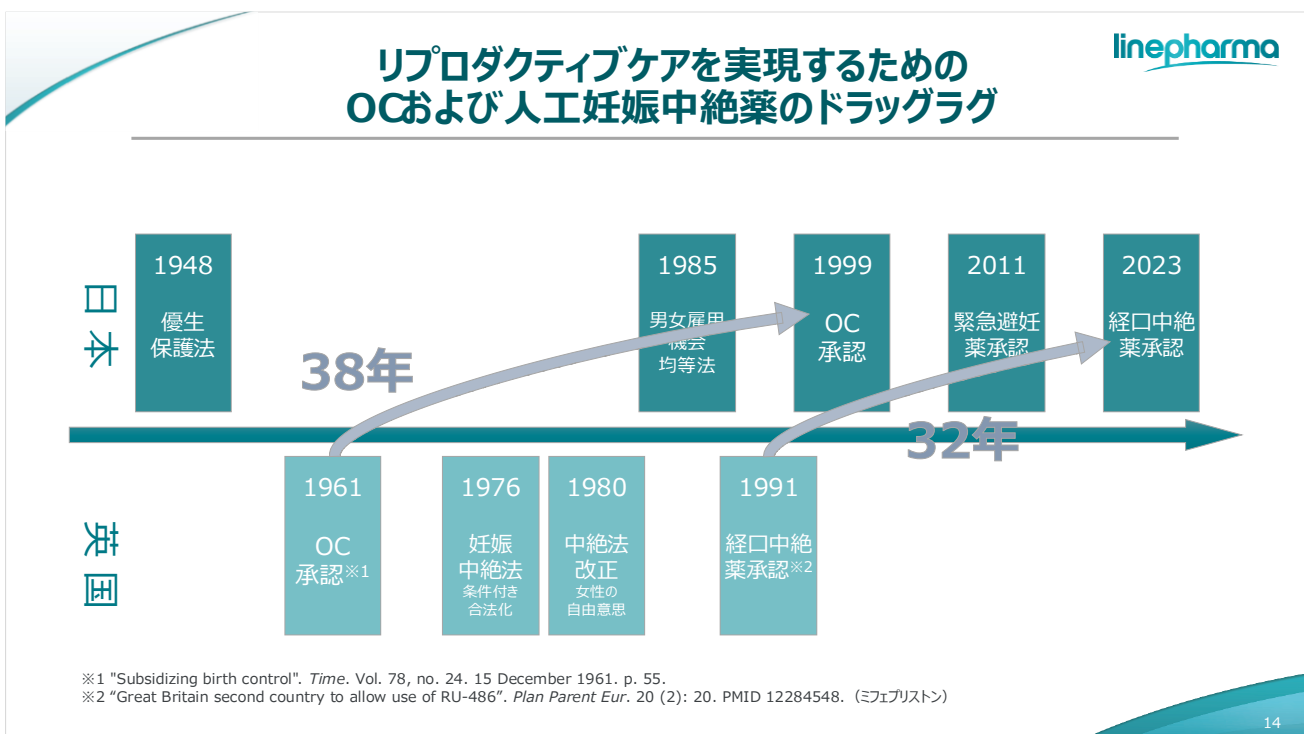
人工的に陣痛を起こすことによる中絶

妊娠12週以降の場合は、胎児が大きくなっているため、人工的に陣痛を起こして流産させることで、中絶を行います

対象	妊娠12週～22週未満の方
方法	1 子宮の出口に特殊な器具を入れ、陣痛を誘発していきます 2 子宮の内部を収縮させるお薬を子宮内に投与し、人工的に陣痛を起こして流産させます
特徴	中絶（流産）を行うために、数日～1週間ほど入院することがあります 陣痛による痛みを伴う場合があります 手術後の「出血量」は、妊娠12週以降の流産の場合、手術後と同等となります 処置後、稀に子宮内に、感染症が起きることがあります

■人工妊娠中絶薬のドラッグラグ

海外と比べて、人工妊娠中絶薬が日本で承認されて使用可能になるまで約 30 年かかりました。

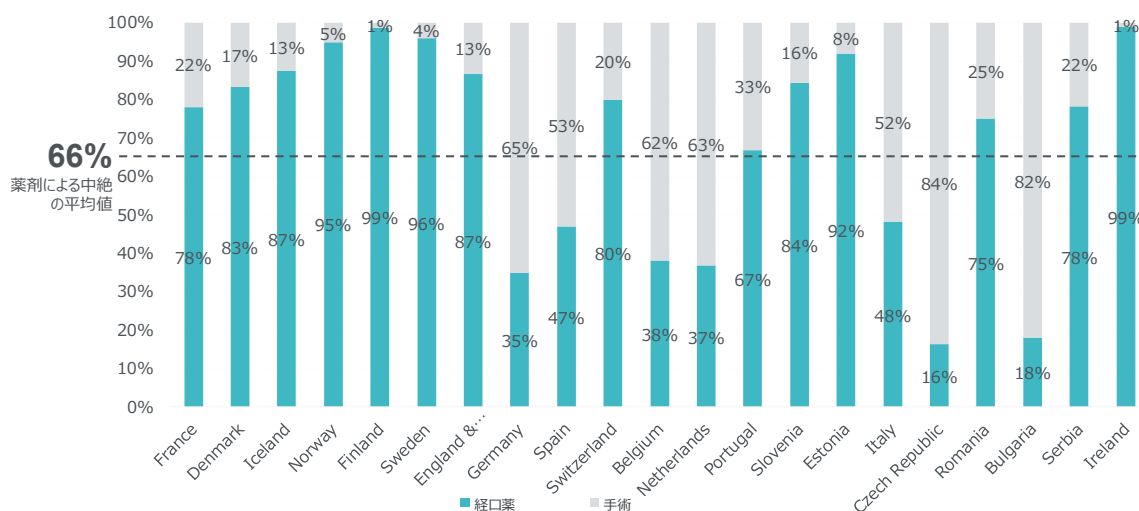


■欧州における中絶方法の割合比較

欧州においては薬剤による中絶が66%（平均値）を占めています。

linepharma

欧州における中絶方法の割合比較



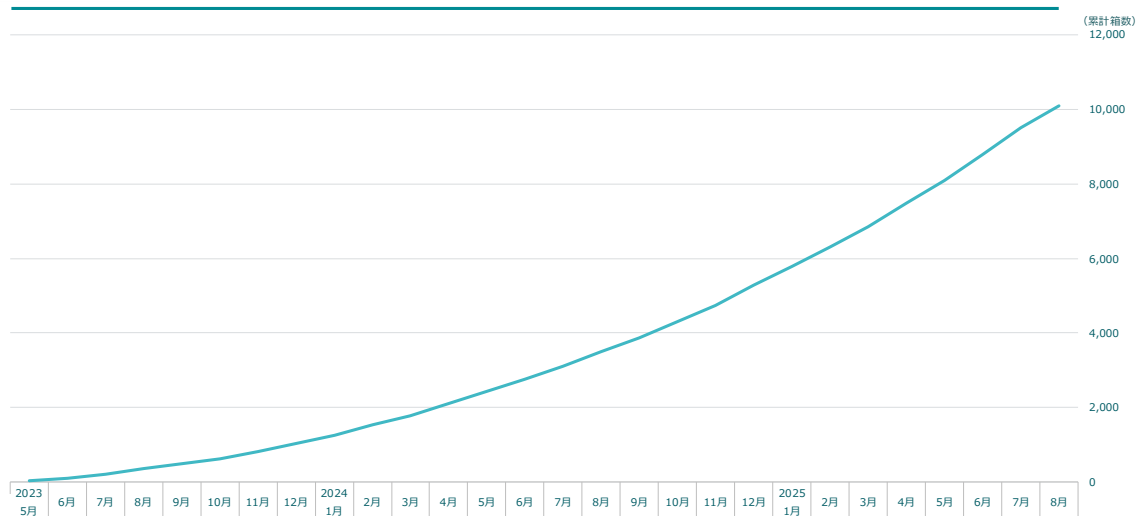
Source: Abort Report | Raising abortion awareness for better women's health (abort-report.eu) – Data 2022

■メフィーゴパック累計販売数の推移

2025年8月に累計販売数が10,000パックを達成しました。ただし、妊娠9週0日以下の中絶に占める割合は10%未満にとどまっています。

linepharma

メフィーゴ®パック 累計販売数の推移

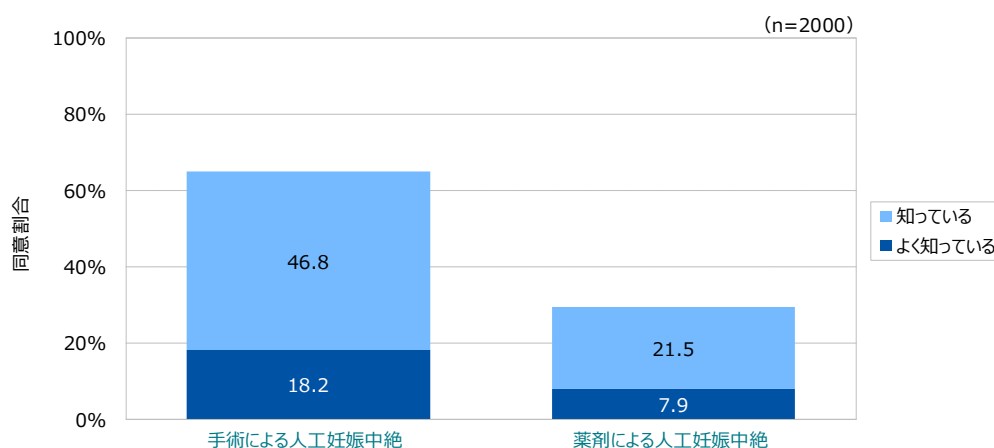


■人口妊娠中絶に関する全国調査（2024 年 3 月実施）より

一般女性における中絶薬の認知率（よく知っている、知っているの合計）はわずか 29%に留まりました。

linepharma

手術/薬剤による人工妊娠中絶に関する認知割合



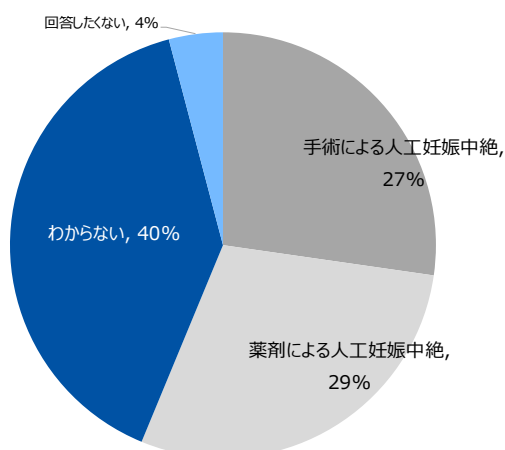
調査概要

- 調査目的：人工妊娠中絶（以下、中絶）に関する一般生活者（女性）の理解状況を把握する
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査対象者：マクロミルモニタに登録している16～49歳の女性
- 有効回答数：2000人
- 調査実施期間：2024年3月22日～25日

人工妊娠中絶をせざるを得ない場合に、40%がどの中絶方法を選ぶか「わからない」と回答しました。

linepharma

人工妊娠中絶をせざるを得ない場合の選択



調査概要

- 調査目的：人工妊娠中絶（以下、中絶）に関する一般生活者（女性）の理解状況を把握する
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査対象者：マクロミルモニタに登録している16～49歳の女性
- 有効回答数：2000人
- 調査実施期間：2024年3月22日～25日

当調査の結果は 2024 年 5 月 16 日にリリースしております。

URL https://www.linepharma.co.jp/Portals/0/upload_files/news/PR_20240516.pdf